

平成27年度 東京藝術大学

大学院音楽研究科（修士課程）入学者選抜試験 試験内容及び課題曲

（本冊子はこのページを含めて全20ページ）

※発表した課題曲等の内容について、電話等による問い合わせには応じません。

声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので参考までに記載します。

【 略 記 一 覧 】

専攻・声種・楽器名	略記	専攻・声種・楽器名	略記
作曲	/	バロック声楽	BVo
ソプラノ	S	バロックヴァイオリン	BVn
メゾ・ソプラノ	Ms	バロックチェロ	BVc
アルト	A	リコーダー	Rec
テノール	T	チェンバロ	Cemb
バリトン	Br	バロックオルガ	BOrg
バス	B	フォルテピアノ	FP
ピアノ	Pf	指揮	/
オルガン	Org	邦楽	/
ヴァイオリン	Vn	音楽学	/
ヴァイオラ	Va	音楽教育	/
チェロ	Vc	ソルフェージュ	/
コントラバス	Cb	応用音楽学	/
ハープ	Hp	音楽文芸	/
フルート	Fl	音楽音響創造	/
オーボエ	Ob	芸術環境創造	/
クラリネット	Cl		
ファゴット	Fg		
サクソフーン	Sx		
ホルン	Hr		
トランペット	Tp		
トロンボーン	Tb		
ユーフォニアム	Euph		
チューバ	Tu		
打楽器	Pc		
室内楽	/		

●略記について●

1. 原則として2字以内にまとめた。
2. 頭文字は大文字を使い、2文字目は小文字とした。
3. 科目名等は日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。

平成27年度「学生募集要項」の配布について

1. 配布時期 7月中旬
2. 配布方法（「募集要項」は無料）
 - (1) 本学での配布は、守衛所または音楽学部教務係で行います。
 - (2) 郵送による申し込みは、下記の要領で行って下さい。

記

申込用封筒（定型封筒で可）
[90×205mmまたは120×235mm]

返信用封筒（角型2号封筒）
[240mm×332mm]

〒110-8714
82円
切手
東京芸術大学音楽学部教務係
台東区上野公園12-8
平成27年度募集要項請求

〒〇〇〇-〇〇〇〇
400円
切手
氏名
申込人住所

←
折り込む

※申込用封筒の裏側にも申込人の住所・氏名を記入すること。

(1) 専攻実技

専攻	研究分野	課題曲等
作曲	<p>◎ 作曲専攻共通注意事項 (作曲、エクリチュール)</p> <p>下記に定める作品等を平成27年1月30日(金)正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出のこと。ただし、音楽教育又はソルフェージュの志願者で、作曲(エクリチュールは選択不可)により受験する者の提出期限は、平成26年8月18日(月)午後4時までとする。(郵送による場合も上記期限までに教務係に届くように発送のこと)</p>	
	<p>作曲</p>	<p>[入試課題曲 (提出作品)]</p> <p>管弦楽作品(室内管弦楽を除く)およびそれ以外のジャンル(演奏者1~10名まで、声楽を含むも可)の作品各1曲の楽譜を提出する。</p>
	<p>エクリチュール</p>	<p>1. [入試課題曲 (提出作品)] 管弦楽作品(室内管弦楽を除く)1曲の楽譜を提出する。</p> <p>2. 与えられた主題で4声フーガを作曲する。(6時間)</p> <p>3. ピアノによる数字付きバス、および旋律の和声付け試験(予見10分)</p> <p>4. 総譜初見視奏</p>

●作曲専攻の試験日程について

本研究科(修士課程)入学試験において、作曲専攻の試験については、全ての試験を2月に行います。

詳細な日程は募集要項にてご確認ください。

専攻	研究分野	課題曲等
器	ピアノ (P f)	<p>下記の a) 及び b) の区分より、ピアノ独奏用作品を組み合わせた30分以上のプログラムを2種類提出すること。それぞれのプログラムは必ず a) b) 両方の作品を含むこと。 当日各自の抽選によりいずれか一方のプログラムを演奏する。</p> <p>a) バロックから古典派までの作品。但し、8分以上とする。 b) ロマン派以降の作品（出版されているものに限る。但し、内部奏法等を含んだ作品は除く。）</p> <p>注) 1) 演奏は暗譜とする。 2) 繰り返しは自由とする。 3) a), b) 共、複数曲でも可。 4) ソナタ・変奏曲の抜粋は認めない。 5) 時間の都合により一部を省略させることがある。</p>
	オルガン (O r g)	<p>(A) 課題曲</p> <p>(1) 北ドイツ楽派の大規模な Toccata または Praeludium の中から任意の一曲 (2) J. S. Bach : J. S. Bach : Triosonate BWV526(c), 530(G) の中から任意の一曲（全楽章） (3) 17~18世紀のフランスの作曲家による Tierce en taille または Cromorne en taille (4) F. Liszt:Präludium und Fuge über BACH (5) L. Vierne: 24 Pièces de Fantaisie より Naïades (6) O. Messiaen: Livre du Saint Sacrement より Offrande et Alleluja Final</p> <p>(注)時間の都合により一部省略することがある。 ○試験日以前にレジスタータイムを2回与える。</p> <p>(B) 即興実技 数字付低音による課題を初見で実施する。 なお、当日5分間の試奏時間を与える。ただし書き込みはできない。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等	
器	管 打 楽 器	<p>◎ 管打楽器共通注意事項</p> <p>○志願者でピアノ伴奏を必要とする場合には、試験当日伴奏者を同伴すること。</p> <p>○受験生同士の譜めくりは禁止する。</p> <p>○出版社の指定のないものは、何版でもよい。</p> <p>○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。</p> <p>○特に指定のないものは、全楽章とする。</p>	
		木 管	<p>1. 課題曲 下記の a)～d) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 (カデンツァを含む)</p> <p>a) W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313 b) W.A.Mozart : Konzert D-Dur K.314 c) B.Romberg : Konzert h-moll Op.30 d) C. Reinecke : Konzert D-Dur Op. 283</p> <p>2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を1曲演奏すること。</p>
		木 管	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314 より第1,2楽章</p> <p>2. 自由選択曲 a)～e)より任意の1曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) E.Carter : Inner Song (Boosey&Hawkes) b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第1曲と第5曲 (Boosey&Hawkes) c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio(Schott) d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より第1曲と第6曲 (Edition du Hautbois) e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote&Bock)</p>
		木 管	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622 より 第1,2楽章</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>
		木 管	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191(186e)(カデンツァなし)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>
		木 管	<p>1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>
		金 管	<p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より第1楽章</p> <p>2. 自由選択曲 a)～c)より任意の1曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11 b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70</p>
		金 管	<p>1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第1楽章 (カデンツァを含む)</p> <p>2. 自由選択曲 a)～c)より任意の1曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第1,2楽章 b) G.Ph.Telemann : Concerto in D 第1曲(Adagio)と第4曲(Allegro) c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章</p>
		金 管	<p>テナートロンボーン</p> <p>1. 課題曲 F.Martin : Ballade(Universal Edition) G.Ch.Wagenseil : Concerto *(Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。</p> <p>2. 自由曲なし</p>
		金 管	<p>バストロンボーン</p> <p>1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>
		金 管	<p>1. 課題曲 J.Horovitz : Euphonium Concerto (Novello)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>
		金 管	<p>1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio R.Vaughan Williams : Concerto for Bass Tuba and Orchestra (Oxford University Press)</p> <p>2. 自由曲なし</p>
		打 楽 器	<p>1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
器 楽	バロック オルガン (B O r g)	<p>1. 次の1)～5)の各作品を演奏する。</p> <p>1) G. Frescobaldi: Capriccio sopra La Bassa Fiamenga (※Mitteltönigwerkを使用すること)</p> <p>2) J. P. Sweelinck: Echo Fantasia in d (d3)</p> <p>3) N. de Grigny: Veni Creator (全5楽章)</p> <p>4) D. Buxtehude: Toccata in d BuxWV 155</p> <p>5) J. S. Bachの6つのトリオソナタ BWV 525-530から任意の1曲を選び、その全楽章を演奏する。</p> <p>2. 当日与える通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間5分)</p>
	古 楽 フォルテ ピアノ (F P)	<p>1. 次の各作品(計3曲)を演奏する。</p> <p>1) J. Ch. Bach : Klaviersonate c-moll Op. 5-6</p> <p>2) 次のどちらか任意の1曲</p> <p>イ) W. A. Mozart : Neun Variationen über die Arie "Lison dormait" von N. Dezède C-dur KV264 (繰り返しは任意)</p> <p>ロ) W. A. Mozart : Zehn Variationen über "Unser dummer Pöbel meint" aus "Die Pilger von Mekka" von Chr. W. Gluck G-dur KV455 (繰り返しは任意)</p> <p>3) 次のどちらか任意の1曲</p> <p>イ) L. v. Beethoven : Klaviersonate B-dur Op. 22 (繰り返しは省略)</p> <p>ロ) L. v. Beethoven : Klaviersonate D-dur Op. 28 (繰り返しは省略)</p> <p>2. チェンバロにて次の作品を演奏する。 F. Couperin: 『クラヴサン奏法 L'Art de toucher le clavecin』から プレリュード第1番 ハ長調</p> <p>3. 当日与える通奏低音の課題をチェンバロまたはフォルテピアノで実施する。(予見時間5分)</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
指 揮		<p>1. 指揮実技(合奏による)</p> <p>(1) 総譜初見指揮</p> <p>(2) 課題曲…以下の課題の指揮をする。 C. M. v. Weber : Ouverture zur "Der Freischütz" 当日、部分を指定して指揮させる。</p> <p>2. 指揮適性検査</p> <p>(1) スコアリーディング</p> <p>(2) 聴音</p> <p>(3) ピアノ以外の器楽実技(自由曲・伴奏なし)</p> <p>(4) 音楽一般に関する試問</p> <p>3. ピアノ 課題曲…全曲の中から部分を指定して演奏させる。 Ludwig van Beethoven : Sonate für Klavier Nr.17 op.31-2 ("Tempest")</p>

専攻	研究分野等	課 題 曲 等												
邦 楽	邦楽共通注意事項 ○受験者に対し、試験の際、邦楽全般又はその専門に関する簡単な口述試問を行う。 ○受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲を暗譜で演奏すること。ただし、長唄・常磐津・清元の受験者は、歌詞のみ唄本を用いてもよい。													
	三 味 線 音 楽	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">長唄三味線</td> <td>「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">常磐津三味線</td> <td>「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">清元三味線</td> <td>「北州」(川口お直作曲)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">長唄</td> <td>「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">常磐津</td> <td>「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">清元</td> <td>「北州」(川口お直作曲)</td> </tr> </table> <p>(注) 長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線の受験者は、各自使用する楽器を持参する。</p>	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津三味線	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)	清元三味線	「北州」(川口お直作曲)	長唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)	常磐津	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)	清元	「北州」(川口お直作曲)
	長唄三味線	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)												
	常磐津三味線	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)												
	清元三味線	「北州」(川口お直作曲)												
	長唄	「賤機帯」(四世杵屋三郎助作曲)												
	常磐津	「関の扉(下)」(宝田寿来作詞・二世岸澤式佐作曲)												
	清元	「北州」(川口お直作曲)												
	箏 曲	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">山田流</td> <td> 箏・箏歌 「住 吉」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「那 須 野」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生田流</td> <td> 箏 「新 浮 舟」(松浦検校 作曲・八重崎検校 箏手付) 「数え唄変奏曲」(宮城道雄 作曲) 三絃 「笹 の 露」(菊岡検校 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器を使用することもできる。なお、出願の際、願書の所定欄に三絃の持参・借用の別を記入すること。 </td> </tr> </table>	山田流	箏・箏歌 「住 吉」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「那 須 野」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。	生田流	箏 「新 浮 舟」(松浦検校 作曲・八重崎検校 箏手付) 「数え唄変奏曲」(宮城道雄 作曲) 三絃 「笹 の 露」(菊岡検校 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器を使用することもできる。なお、出願の際、願書の所定欄に三絃の持参・借用の別を記入すること。								
	山田流	箏・箏歌 「住 吉」(山田検校 作曲) 三絃・歌 「那 須 野」(山田検校 作曲) (注) 箏・三絃は原則として各自持参の楽器を使用する。ただし、本学で用意した箏(テトロン糸)・三絃の使用も可能。なお、出願の際、願書の所定欄に持参・借用の別を記入すること。												
生田流	箏 「新 浮 舟」(松浦検校 作曲・八重崎検校 箏手付) 「数え唄変奏曲」(宮城道雄 作曲) 三絃 「笹 の 露」(菊岡検校 作曲) (注) 箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。三絃は原則として各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した楽器を使用することもできる。なお、出願の際、願書の所定欄に三絃の持参・借用の別を記入すること。													
尺 八	<p>琴古流による受験者…… 1. 「真虚霊」 (初世黒沢琴古編曲) 2. 「虚空鈴慕」(同上) 3. 「秋田菅垣」(同上)</p> <p>都山流による受験者…… 1. 「岩清水」 (流祖中尾都山作曲) 2. 「寒月」 (同上) 3. 「懐月調」 (同上)</p> <p>○上記各3曲の中から2曲を選び、演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は三浦琴童譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜によること。</p> <p>共通曲…………… 1. 「松風」 (中能島松聲・山木大賀作曲) 2. 「萩の露」(幾山検校作曲)</p> <p>○上記2曲の中から1曲を選び、合奏にて演奏する。 ○五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。 ○琴古流による受験者は竹友社発行譜、都山流による受験者は都山流尺八楽会公刊譜を使用すること。 ○共通曲の伴奏者(箏・三絃)については本学にて用意する。</p> <p>※出願の際は、所定の用紙(受験曲目提出用紙)に必要な事項を記入の上提出すること。</p>													

専攻	研究分野等	課 題 曲 等
邦 楽	能 楽	観世流または宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クセ」及び仕舞「花筐クルイ」 ワキ方宝生流による受験者……謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による受験者……小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」
	能 楽 囃 子	(イ) 笛……「楽」または「神楽」 (ロ) 小鼓……囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ハ) 大鼓……囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 (ニ) 太鼓……「楽」または「神楽」 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上提出のこと。
	邦 楽 囃 子	1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（笛）（初世杵屋弥三郎作曲） 3. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1) 3以外は暗譜で演奏すること。 2) 1, 2の伴奏者（長唄、三味線）は本学係員が担当する。 3) 受験者は、各自使用する楽器を持参すること。 ※出願の際は、所定の用紙（「受験曲目提出用紙」）に必要事項を記入の上提出のこと。
	日 本 舞 踊	1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで両曲とも全曲を踊る。 注1) 録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。 2) 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。

※日本舞踊の使用音源について

指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡してください。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音 楽 学	1. 専攻論文 試験時間：2時間 2. 音楽学 試験時間：2時間 3. 口述試問 各自の専攻テーマについて論じる。 音楽美学、音楽理論、西洋音楽史、 日本・東洋音楽史、音楽民族学の5 部門から2部門を選んで受験する。
	音 楽 教 育	1. 小論文 試験時間：2時間 2. 口述試問 3. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等 の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課さ れている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。 ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験 において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受 験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏す ること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲 1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op. 10及び Op. 25より任意の曲3曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>
	ソルフェージュ	1. ソルフェージュ試験 (1) ソルフェージュ実技試験 a. ピアノによる聴音書取（単旋律、複旋律、四声体和声） b. 各種音部記号（ト音記号、ヘ音記号、ハ音記号）による初見唱 c. 初見奏 『「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」』にお いて選択した楽器による初見奏とする。ただし、声楽専攻受 験者は「ト音譜表による初見唱」とし、作曲、指揮、邦楽の 各専攻及び音楽学研究分野受験者は「ピアノによる初見奏」 とする。 d. 和声課題（「楽器等の実技試験」の作曲受験者は免除） バスおよびソプラノ課題による四声体和声。 (2) ピアノ実技試験（「楽器等の実技試験」のピアノ受験者は免除） 課題曲：10分前後のピアノ作品を任意に選択し、暗譜で演奏す る。一部を指定して演奏させることもある。 2. 記述試験 ソルフェージュ専攻分野に関わるテーマを課した小論文 文字数：800字 試験時間：1時間30分 3. 口述試問 4. 「楽器等の実技試験」または「音楽学の筆記試験」 作曲、声楽、器楽、指揮、邦楽の各専攻で課されている「楽器等 の実技試験」または、音楽文化学専攻音楽学研究分野において課さ れている「音楽学の筆記試験」のいずれか一つを選択し受験する。 ただし、器楽専攻室内楽研究分野で課されている楽器実技は本試験 において選択できない。 なお、声楽により受験する者は、声楽専攻実技試験第1回のみ受 験すること。また、ピアノにより受験する者は次の課題曲を演奏す ること。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>●ピアノ受験者の課題曲</p> <p>1) Haydn, Mozart, Beethoven のピアノソナタより任意の曲 1曲（全楽章）及び</p> <p>2) Chopin の練習曲 Op. 10及び Op. 25より任意の曲3曲 (注) 1) 繰り返しは省く。 2) 演奏は暗譜とする。 3) 演奏の一部を省略することがある。 4) 本学所定の受験曲目提出用紙を提出すること。</p> </div>

【予告】

※平成28年度入試より、音楽教育研究分野及びソルフェージュ研究分野の『「楽器等の実技試験」
 または『音楽学の筆記試験』』において「指揮専攻で課されている『楽器等の実技試験』」を廃止する。
 同年度より両分野の実技試験では指揮を選択することが出来ないため、注意すること。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	応用音楽学	<p>1. 小論文</p> <p>2. 1次口述試問 1次試問では主に研究計画に即した試問を行う。研究テーマによっては楽器の演奏による自己アピールやパネルを用いたプレゼンテーションなどを認める。各自の判断で楽器やパネルを用意すること。ただし、準備・実演に長時間を要するものは認められない（準備も含めて5分程度である）。 試験場にはピアノが置かれている。アンプ等を必要とする電子楽器・電気楽器は原則として認められない。 一般的なオーディオ機器（CD、カセット、ビデオ）は用意されている。また、ポータブルコンピューターを持参してのプレゼンテーションは可能だが、機器についてのサポートは一切あたえられないので、すべて自己責任にて用意すること。 かならずしも実演を行わなければならないということではない。</p> <p>3. 2次口述試問</p> <p>※願書提出の際「研究計画書」・「志望理由書」を提出しなければならない。</p>
	音楽文芸	<p>1. 専攻論文 試験時間：2時間</p> <p>2. 小論文 試験時間：2時間</p> <p>3. 口述試問 口述試問では、願書と一緒に提出された研究計画書を参考資料として、主に研究計画についての試問を行う。したがって研究計画書には、(1)音楽文芸を志望した理由、これまでの研究・活動歴、現段階で興味を持っているテーマについて、(2)修士課程在籍中の2年間における研究計画、修士論文について現時点で想定し得るテーマ・素材を、各々800字以内で具体的に書いておくこと。</p>

【予告】

※平成28年度大学院入試より、音楽文化学専攻のうち応用音楽学研究分野及び音楽文芸分野については、二段階選抜方式を廃止し、第1次選考を行わない。
また、音楽文化学専攻では試験日程が変更される予定である。

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	音楽音響創造	<p>1. 聴試試験 (1) 音楽を聴いて、編成や楽譜との相違などを解答する。 (2) 2種類の音を聴いて、音の大きさや音色の違いなど音響的な特徴について解答する。 (3) 音楽を聴いて感じたことを、設問にそって自由に記述する。</p> <p>2. 記述試験 (1) 音楽に関する記述問題(楽典、楽器、人物などについての設問) (2) 音響に関する記述問題(用語、音響学の基本事項についての設問)</p> <p>※試験時間は、「聴試試験」、「記述試験」合わせて3時間とする。</p> <p>3. 口述試験 主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に(A)「研究計画書」及び(B)「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「音楽音響創造入試『作品(または論考)』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>(A)「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。</p> <p>(B)「作品あるいは論考」について 下記(1)、(2)、(3)のいずれかを提出すること。(返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の創作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての解説。(1作品につきA4用紙4枚以内、録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること)。</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R、DVD-R、Blu-rayで、映像をともなう場合はDVD-R、Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p>

専攻	研究分野	課 題 曲 等
音 楽 文 化 学	芸術環境創造	<p>1. 記述試験（試験時間2時間） 芸術運営、舞台芸術、文化研究に関する記述試験。（各分野から2問ずつ計6題出題される設問のうち、3問を選択して解答する）</p> <p>2. 口述試問 主に、提出された「研究計画書」、「作品または論考」に即した試問を行う。質疑応答を含め1人20分程度で実施する。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に（A）「研究計画書」及び（B）「作品あるいは論考」を提出すること。なお、「研究計画書」は、願書と同封の上提出すること。また「作品あるいは論考」は、願書とは別の封筒を使用し、速達書留郵便により提出すること。送り先は「本学部教務係」とし、封筒表に「芸術環境創造入試『作品（または論考）』在中」と大きく明記すること。提出は、出願期間内に行うものとし、同期間内の消印のあるものを受理する。</p> <p>（A）「研究計画書」について 本学所定の様式を使用し、入学後の研究計画を1200～1600字で具体的に記述すること。</p> <p>（B）「作品あるいは論考」について 下記の(1)、(2)のいずれかを提出する。（返却しない） (1) 研究成果、活動歴を示すもの（400字以内の概要を含む） 作品（映像、戯曲、批評）1～2点、作品の記録（コンサート、展覧会、パフォーマンス、舞台作品の記録など） * 音楽作品は CD-R、DVD-R、Blu-ray で、映像作品は DVD-R、Blu-ray で提出する。 * 戯曲、批評は形式を問わない。 (2) これまで研究した芸術環境創造に関する日本語による論考（4000字程度）</p>